

食品新聞

発行所 食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪府北区南森町2-3-30
電話 06(6361)4972
東京都中央区新富町1-1-8
電話 03(3552)3756-4031
名古屋市中区丸の内2-10-11
電話 052(221)5391
支店 広島・福岡
食品新聞社 2018
THE JAPAN FOOD NEWS
創刊 1947年

自然の恵みを味に残り、皆様に届けたい。

青のり

青のり専門問屋 株式会社カメセ水産

きょうの主な内容

「売上調整、収益は厳しく」
業務用冷蔵特集 4頁5面
「重要な日常業務の徹底」
食中毒防止対策特集 6〜7面

安納芋

小豆島の味香り

安田食品工業株式会社
電話0879-822225

大豆関連団体

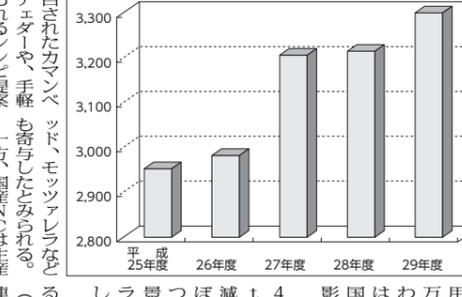
不検出に異議あり

Non-G表示で要望書提出へ

大豆関連団体は今夏、消費者庁へ対して連名で要望書を出す。消費者の「遺伝子組換え表示制度に関する検討会」において、「遺伝子組換えでない」と表示認められる条件を現行制度の「5%以下」から「不検出(0%)」に引き下げる方向性が示された。これを受け、主要大豆関連団体は表示条件の「不検出」への引き下げに反対し、再検討を求めた。

3年連続過去最高 ナチュラルチーズが牽引

国内チーズ消費量推移



平成29年度の国内ナチュラルチーズ消費量は前年比5.3%増の33万8千344トンとなり、3年連続で過去最高を更新した。プロセスチーズ(以下、PC)は0.4%減(13万7千777トン)だった。

平成年度の国内ナチュラルチーズ消費量は前年比5.3%増の33万8千344トンとなり、3年連続で過去最高を更新した。プロセスチーズ(以下、PC)は0.4%減(13万7千777トン)だった。

業務用プレミックス 事業、海外展開を加速

ベトナムに新工場建設へ

日清製粉グループは、19年度の稼働を目指し、ベトナムに新工場を建設する。ベトナム日清製粉(ベトナム日清)は、ベトナムに現地法人Vietnam Nishin Co., Ltd. (以下、VN)を設立し、ベトナム日清グループの拠点を拡大する。VNは、ベトナムの主要都市ハノイに本社を置き、ベトナム日清グループの拠点を拡大する。

ベトナムは高い労働力を背景に、海外向けの加工食品生産基地として注目され、業務用プレミックスの需要が期待されている。日清製粉グループは、ベトナムに新工場を建設し、ベトナムに拠点を拡大する。

サッポロビール新RTD



サッポロビールは、7月18日の会見で、高島忠生社長は「アクセラレーション」の2段階のなかで、1段階の「アクセラレーション」を完了させた。高島社長は「アクセラレーション」の2段階のなかで、1段階の「アクセラレーション」を完了させた。

大人の缶チューハイ

「研ぎ澄まして積極投資へ」

市場は前年同期比10.9%の伸びを示している。ビール類(川口尚文)と、最近で実・果汁が主役ではないが、酒の消費量は伸び続けている。高島社長は「研ぎ澄まして積極投資へ」という方針を示している。

逆光線

記録的な産物の影響がやがて見られる。先心病、被害を被る可能性がある。35度以上の猛暑が続く中、野菜の供給に支障が出る可能性がある。高島社長は「逆光線」として、今後の市場動向を分析している。

季節のこだわり素材を使った カット済みケーキ

特別なこだわりをもった生産者を訪ね、厳選した原料を使用

カット済みケーキ 安納芋

(鹿児島県種子島産安納芋使用)

低温貯蔵した安納芋を石釜でじっくり炭火焼きし、おいしい焼き芋に

カット済みケーキ りんご

(青森県弘前産ふじりんご果汁使用)

恵まれた環境で育った摘みとったりんごのおいしさをまるごと果汁に

規格・荷姿：[367g箱(49個入)]×6×2合 ※約7.5g/個 ※1個当たりのサイズ：約2.5×2.5×2.6cm(高さ)

味の素冷凍食品株式会社